

湘南地域連合第30回定期総会

日 時：2020年12月18日（金）15：00～

場 所：藤沢市民会館

出席者：萩原和彦（丸全昭和運輸労働組合） 伊丹正彦（ヤマト運輸労働組合湘南支部）



2020年12月18日（金）湘南地域連合第30回定期総会が藤沢市民会館にて開催され、議長団に自動車総連の久保代議員、湘南教組の澁谷代議員が選出されました。

冒頭、主催者を代表して岩崎議長より「このようなコロナ禍の色々な制限がある中、お集まり頂きありがとうございます。上部組織の連合神奈川の吉坂会長と藤沢市の鈴木市長と寒川町の木村町長がお見えになっています。

本日お集まりの私達が、湘南の地で連合の運動に取り組んでいることは、本日お越しいただいている皆様のおかげであると私は常日ごろ思っております。心より御礼申し上げますと共に、連合の運動は組合員の皆様のご協力と大変深い理解のもと、私たちは連合の展開が出来ていると思っています。国内の情勢は9月に安倍政権から菅政権へと替わりましたが、このコロナの対応については認識が甘いと思います。私達の方がしっかりしていると思います。湘南地域の各単組の組合員の皆様の方が危機管理、危機意識が強いと思います。来年秋までには衆議院選挙が行われます。湘南地域連合でも再度、阿部とも子氏を政局に送り出し私達の声を届けて貰いたい。」また、「この世の中が様々な関りと繋がりがあったんだと思いました。様々な業界で働く人達の繋がりは、お互い微妙な距離感で関りを持っているんだと強く感じ、普段は気付かない距離感で関り合っていると言うことを学びました。安全・安心な社会の構築に向けた取り組みを展開する、そして産別を超えて結集ができるのは、労働組合の世界だけではないかと思います。そのエネルギーをパワーに変えて私達に取り組んでいる政策制度要求を行政、社会に対して考え方を発信していくことが重要です。」と述べました。



その後、経過報告として①2020年度一般活動経過報告 ②2020年度会計決算報告③2020年度会計監査があり、続いて議事として①第1号議案 2021年度活動方針(案) ②第2号議案 2021年度予算(案) ③第③号議案 役員選出(案)の提案があり上記について出席代議員の賛成多数で承認可決され、最後に鈴木 桂新議長より団結ガンバロー三唱で団結を誓い、湘南地域連合第30回定期総会は終了しました。

ヤマト運輸労働組合湘南支部 伊丹 正彦

【感想】

12月18日（金）湘南地域連合 第30回定期総会に代議員として出席して参りました。

ソーシャルディスタンスを取った中での総会は、藤沢市民会館小ホールにて開催され、検体・手消毒・マスクはもちろん、ヒトとヒトとの間隔をしっかりと空け、1年前には想像していなかった形での総会となりました。

内容として一番印象に残ったのは、今回の総会で岩崎議長（江ノ電労組）と橋本事務局長（藤沢市職労組）がご退任され、橋本事務局長は我々がメインで活動している湘南地区連の政策制度要求を真摯に受け止め、ご協力して頂いている方でしたので、非常に残念な気持ちで退任挨拶をお聞きしておりました。

また岩崎議長からは、退任挨拶の中で、「組合らしさを追求して活動してきた」というフレーズに言葉では表しきれない気持ちを感じ取り、刺激を受けました。

湘南地域連合をメインで引っ張ってきたお二方がいなくなるのは複雑な気持ちもありますが、湘南地域連合の幹事として微力かもしれませんが、協力していきたいと思います。

2021年度 新議長には、いすゞ自動車労働組合 鈴木議長と新事務局長には、藤沢市職員労働組合 藤田事務局長となりました。

丸全昭和運輸労働組合 萩原 和彦